

中部横断自動車道

ながさか やちほ
(長坂～八千穂)

第2回 アンケート

このアンケートは、中部横断自動車道（長坂～八千穂）の「今後の整備方針」について、コミュニケーション活動の一環として、国土交通省関東地方整備局甲府河川国道事務所、長野国道事務所より、皆様にご意見をお伺いするものです。

- **第1回アンケート・意見聴取のご協力ありがとうございました。**

平成23年2～3月に実施した「中部横断自動車道（長坂～八千穂）」アンケート・意見聴取では、沿線地域にお住まいの方、道路利用者、地元自治体、経済界等の方々にご協力いただいた結果、約7,400通ものご意見をいただきました。

結果については、別冊でとりまとめているとともに、ホームページでも公表しております。
(<http://www.ktr.mlit.go.jp/nagano/>)

- **今回の第2回アンケートでは、対策案の評価についてお伺いします。**

今回は、周辺地域の課題を解決するための、**対策案**についてお聞きします。

皆様から頂いたご意見は、とりまとめの上、関東地方小委員会に報告する予定です。

中部横断自動車道

■ 中部横断自動車道は、総延長約132kmの高速道路です。

中部横断自動車道は、静岡県静岡市から長野県小諸市に至る高速道路です。

現在、山梨県の増穂IC～双葉JCT間および長野県の佐久南IC～佐久小諸JCT間が開通しており、新清水JCT～増穂ICおよび(仮称)八千穂IC～佐久南IC間は、国土交通省およびNEXCO中日本が整備を進めています。



■ 本アンケートの対象となるのは、長坂～八千穂間です。

本アンケートは、「(仮称)長坂JCT(山梨県北杜市)～(仮称)八千穂IC(長野県南佐久郡佐久穂町)」間の整備方針について、ご意見を伺うものです。

1. 周辺地域の課題

■第1回コミュニケーション活動も踏まえ、「周辺地域の課題」を設定しました。

産業物流の課題



●地域の農産物(高原レタス)などを消費地まで運ぶのに時間がかかるため、産業物流の速達性や定時性に課題。

救急医療の課題



●救急医療施設までの救急搬送に時間がかかるため、救急医療の速達性や医療体制の充実に課題。

観光地連携の課題



●軽井沢や清里・小淵沢など、観光地間の移動に時間がかかるため、主要な観光地間の連携不足や観光資源の活用に課題。

日常生活の課題



●近郊都市までの買い物や通勤に時間がかかるため、日常生活の移動性に課題。

国道141号の課題



●地域の幹線道路である国道141号には、急カーブ、急坂、豪雨時の通行止め規制、冬期の凍結などの区間があり走行性や安全性の課題と、他に地域間を結ぶ幹線道路が少ないことや代替路がないことに課題。

過疎化・高齢化の課題



●人口の減少による過疎化や高齢化が進行していることに課題。

地域活性・連携の課題



●地域の活性化や他地域との交流や連携が不足していることに課題。

公共交通の課題



●鉄道やバスなどの公共交通機関の運行本数が不足していることに課題。

環境・景観を保全することの課題



●沿道環境や地域の豊かな自然環境・貴重な景観を保全していくことが、地域の重要な課題。

2. 課題を解決するための目標

■第1回コミュニケーション活動も踏まえ、「課題を解決するための目標」を設定しました。

生産品の輸送時間短縮



●高速道路までのアクセス時間を短縮し、生産品の総輸送時間の短縮や定時性の向上。

救急医療施設への移動時間短縮



●救急医療施設までの救急車の患者搬送時間を短縮。

主要な観光地間の連携向上



●主要な観光地間の移動時間を短縮。

地域の生活交通の円滑化



●近郊都市まで買い物や通勤などの移動時間を短縮。

現道の走行性・安全性の向上



●交通事故を減少させることによる、走行性や安全性の向上。

災害時の代替路確保



●地震などの災害時や雪害・事故による通行止めが発生した場合も地域の交通機能を確認。

企業誘致・雇用の促進



●地域内や地域外からの通勤時間の短縮、長距離流通の輸送時間の改善などによる企業誘致や、雇用確保による過疎化や高齢化の抑制につながる環境整備。

公共交通の利便性向上



●現道の交通量が減少することによる現道の走行性や地域のアクセス性を改善し、バスなどの公共交通の利便性向上につながる環境整備。

環境・景観の保全



●環境・景観に配慮した構造とする等、必要な対策を講ずることにより影響を最小限とする。

3.対策の比較案

■第1回コミュニケーション活動も踏まえ、周辺地域の課題を解決していくための「対策案」を設定しました。

図の赤い線と青い線で示した幅が、高速道路を整備する対策案の概ねの位置です。

	【案①】 全区間で新たに道路を整備する案	【案②】旧清里有料道路を一部区間で有効利用する案	【案③】 国道141号(一般道)を改良する案	整備なし
内容	高速道路を長坂～八千穂間の全線4車線で整備する案	整備する高速道路の一部に旧清里有料道路を活用する案(※以外の区間は案①と同様)	現道(国道141号)を4車線で改良する案	新たに道路を整備しません。
特徴				

高速道路の整備

- 設計速度 80km/h の高速道路を新たに整備します。
- 一般道とはインターチェンジにより接続します。



旧清里有料道路の有効利用

- 旧清里有料道路は、沿道からの乗り入れが少なく、良好な走行性が確保できる道路です。
- この道路を高速道路の一部区間として有効利用することができると考えます。



※「旧清里有料道路」とは、「県道北杜八ヶ岳公園線」のうち、H17年6月6日まで有料道路であった区間です。

国道141号(一般道)の改良

- 現在、片側1車線の区間を、片側2車線に拡幅し、4車線道路に改良します。



※国道141号(現況)



※設計速度とは、他の車の影響が少ない状態で、車が安全かつ快適に走行できる速度のことです。

4.各対策案の特徴

■ 前頁でお示した各対策案は、以下のような特徴があります。

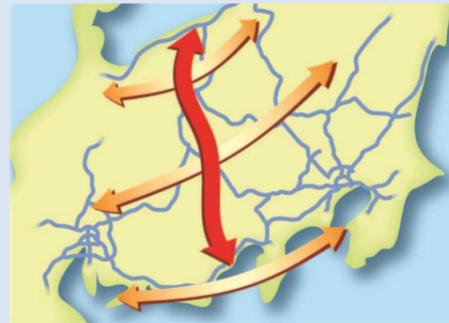
		各案での試算			整備なし	
		高速道路		一般道路		
		【案①】 全線整備案	【案②】 一部旧清里有料道路活用案	【案③】 国道141号(一般道)改良案		
		・高速道路を長坂～八千穂間の全線4車線で整備する案	・整備する高速道路の一部に旧清里有料道路を活用する案	・現道(国道141号)を4車線で改良する案 ・但し、現状の信号交差点は残る		
項目	例	80km/h(設計速度)	80km/h、一部50km/h(設計速度)	60km/h(設計速度) ・設計速度60km/hで算出しているが、信号交差点があることから実際の速度は下回る	50km/h、一部40km/h(設計速度)	
政策目標	生産品の輸送時間短縮	高速道路ICまで1時間以内で行ける予冷施設の数 (対象地域:南佐久地域及び北杜市)	18箇所(全て)	18箇所(全て)	約14箇所	道路整備による改善効果なし 約14箇所(実測値を基に算出)
		高速道路ICまで1時間以内で行ける人口 (対象地域:南佐久地域及び北杜市)	約7.1万人(全て)	約7.1万人(全て)	約6.9万人 (信号交差点がない場合で算出)	道路整備による改善効果なし 約6.6万人(実測値を基に算出)
	救急医療施設への移動時間短縮	第3次医療施設まで30分以内で行ける人口 (対象地域:南佐久地域)	約1.8万人	約1.8万人	約1.4万人 (信号交差点がない場合で算出)	道路整備による改善効果なし 約1.3万人(実測値を基に算出)
	主要な観光地間の連携向上	小淵沢-軽井沢間の所要時間	約85分	約85分	約114分 (信号交差点がない場合で算出)	道路整備による改善効果なし 約124分(実測値を基に算出)
	地域の生活交通の円滑化	川上村-佐久平SC間の所要時間	約46分	約46分	約52分 (信号交差点がない場合で算出)	道路整備による改善効果なし 約59分(実測値を基に算出)
	現道の走行性・安全性の向上	走行性 死傷事故率	<ul style="list-style-type: none"> ・高速道路への交通の転換により現道の交通量が減少し、走行性の向上や事故の減少が期待できます。 ・なお、自動車専用道路の死傷事故率は幹線道路に比べて小さい(下記参照)ことから沿線全体の事故件数は、現在より大幅に減少することが見込まれます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・規制区間が解除され、緩やかなカーブや上り坂となり、走行性が向上します。 ・歩道や中央分離帯の整備により現在の事故件数の減少が期待できます。 	道路整備による改善効果なし	
			(参考) ・自動車専用道路の死傷事故率(全国平均) 13.0件/億台キロ ・幹線道路の死傷事故率(全国平均) 97.7件/億台キロ ・国道141号の死傷事故率 94.4件/億台キロ			
	災害時の代替路確保	国道141号の代替路となる路線	中部横断自動車道	中部横断自動車道	なし	なし
	企業誘致・雇用の促進	企業誘致・雇用促進への貢献 過疎化や高齢化の抑制	・アクセス性・利便性の向上により、企業誘致や雇用の促進とともに過疎化や高齢化の抑制が考えられます。	・現道の走行性が改善することによる企業誘致や雇用の促進とともに過疎化や高齢化の抑制がある程度期待できます。	道路整備による改善効果なし	
	公共交通の利便性向上	バスの利便性	・高速道路への交通の転換により現道の走行性が改善され、公共交通の利便性向上が考えられます。 ・高速道路の整備により、高速バスなどによる他地域とのアクセス性が向上することが考えられます。	・現道の走行性が改善され、公共交通の利便性向上が考えられます。	道路整備による改善効果なし	
環境・景観の保全	沿道環境の改善 自然環境・景観への影響	・国道141号などの現道交通が転換されることにより沿道環境が改善されるものと考えられます。 ・改変による自然環境や景観への影響が考えられます。	・一部バイパス区間では、交通が転換されることにより、沿道環境が改善されるものと考えられます。 ・ループ橋等の整備により、自然環境や景観への影響が考えられます。	道路整備による変化なし		
その他	道路にかかる家屋数	買収対象家屋	約70～約170件	約65～約160件	約300～400件	0
	概ねの費用	建設にかかる概ねの費用	約2,100～2,300億円	約1,950～2,150億円	約1,300～1,400億円	0
	広域的な道路ネットワーク		・当該区間は中部横断自動車道の一部であり、整備により高速道路のネットワークが形成されるため、中部地方や北陸地方などとの広域的な連携等が強化されます。	・当該区間が高速道路ネットワークのミッシングリンクとなるため、中部地方や北陸地方などとの広域的な連携等に課題が残ります。	道路整備による変化なし	

※各案の所要時間は設計速度を基に算出

※死傷事故率とは死傷事故件数(平成18年確定値)÷走行台キロ(平成18年度暫定値)で算出

■ 第1回コミュニケーション活動でいただいたご意見の中には、広域ネットワークに関するご意見もいただいております。

広域的な道路ネットワークの形成等に関するご意見



広域的な道路ネットワークのイメージ

- 東北地方や関西地方とも高速道路で結ばれることにより新たな国土軸が形成され均衡ある国土の発展につながるというご意見
- 太平洋と日本海が短時間で結ばれることによる観光や産業の発展を期待するご意見
- 首都圏などの災害時には物資輸送など重要な役割を果たすことに関するご意見

(参考)

- 中部横断自動車道の全線整備により、例えば静岡～上越間の移動時間が1時間以上短縮されます。
- 今年7月に、高速道路のあり方検討有識者委員会より、災害時における緊急輸送道路としての高速道路の役割等について「東日本大震災を踏まえた緊急提言」がなされています。

<「東日本大震災を踏まえた緊急提言」の抜粋>

- ・ 広域的な幹線道路ネットワークについては、地域の孤立化や多重性の欠如など災害面からの弱点を再点検し、その克服に向けて、ミッシングリンクの解消や隘路区間の改良など効果的な手法を選択し、緊急性の高い箇所から重点的に強化を行う必要がある。
- ・ 首都直下地震、東海・東南海・南海地震などの大震災が想定される地域を中心に、現在調査中の事業を含め、災害面からの弱点の再点検と、必要な箇所の選択的かつ重点的な強化が必要である。

■ 第1回コミュニケーション活動でいただいたご意見のうち、今後の計画の具体化等に関するご意見と地域と一体となった取り組みに関するご意見につきまして、次のとおりとりまとめました。

(1) 今後の計画の具体化等に関するご意見

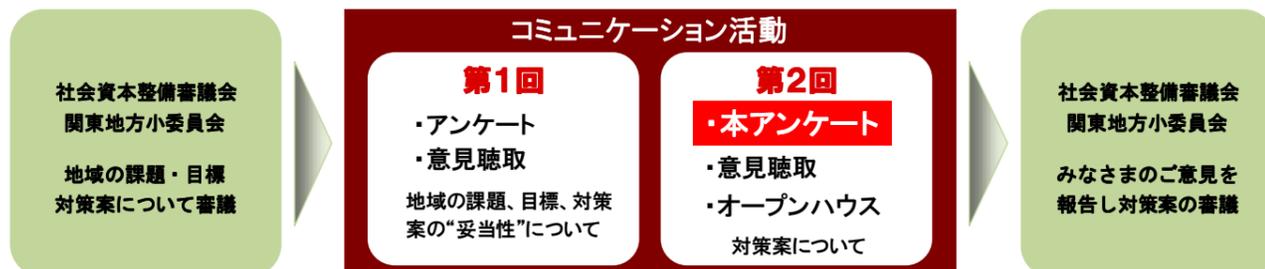
- ルート、構造の検討や降雪、凍結対策に関するご意見
- 中央道との接続位置やIC数・位置に関するご意見
- 段階整備(車線数)に関するご意見
- 財源や料金に関するご意見
- 地域分断などの懸念に関するご意見
- SA、PAの設置に関するご意見
- アクセス道路等周辺道路整備に関するご意見

(2) 地域と一体となった取り組みに関するご意見

- 道路整備による利便性向上等の反面、地域の空洞化や通過点化による観光地、地元産業の衰退等を懸念するご意見
- 公共交通機関の改善要望や利用客減少への懸念と公共交通の役割分担等の検討に関するご意見
- 医療設備やドクターヘリの整備など地域医療の充実に関するご意見
- 保育園や老人施設、福祉施設等の充実に関するご意見
- まちづくりとの整合に関するご意見
- 犯罪の増加など生活環境への影響に関するご意見

計画段階評価の進め方

「計画段階評価」とは、公共事業の実施過程の透明性を一層向上させる観点から、地域の声を聞きながら、計画段階において事業評価を行う新しい取り組みです。



2～10頁をご覧になったうえでアンケートにお答え下さい(回答は返信はがきに記入して下さい)

■ 回答の提出方法

- ・ 回答は、右下の「アンケート回答用 返信はがき」に記入し、切り取って郵便ポストに投函して下さい。
- ・ この他にも、インターネットを使った回答や、市役所・町村役場などで配布されているアンケート用紙をご利用下さい。

■ 注意

- ・ 回答は、お一人様1通としてください。
- ・ なお、お一人の方からの複数回答が確認された場合は、無効とする場合があります。

質問1 4・5頁に示した目標の中で重要と思うものを3つ選んで下さい。

(回答は下の返信はがきにお書き下さい)

- ①生産品の輸送時間短縮
- ②救急医療施設への移動時間短縮
- ③主要な観光地間の連携向上
- ④地域の生活交通の円滑化
- ⑤現道の走行性・安全性の向上
- ⑥災害時の代替路確保
- ⑦企業誘致・雇用の促進
- ⑧公共交通の利便性向上
- ⑨環境・景観の保全

質問2

6・7頁に示した以下の対策案について、ご意見をお聞かせ下さい。

(回答は右の返信はがきにお書き下さい)

- ・ 案①全区間で新たに道路を整備する案
 - ・ 案②旧清里有料道路を一部区間で有効利用する案
 - ・ 案③国道141号(一般道)を改良する案
 - ・ 整備なし
- (※但し、信号交差点は残ります)

質問3

その他、中部横断自動車道(長坂～八千穂)について、ご意見がありましたらお聞かせ下さい。

(回答は右の返信はがきにお書き下さい)

ご協力ありがとうございました

キリトリ

アンケート回答用 返信はがき

質問1 目標の中で重要と思うものを3つ選んで下さい。

質問2 対策案について、ご意見をお聞かせ下さい。
(ご自由に記入して下さい)

.....

※受付は終了いたしました。

.....

質問3 その他、中部横断自動車道(長坂～八千穂)について、ご意見がありましたらお聞かせ下さい。
(ご自由に記入して下さい)

.....

.....